

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人ほのぼの苑

平成 28 年度事業概要

平成 28 年 4 月から、社会福祉法の一部を改正する法律の施行により、社会福祉法人制度の改革が進められ、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務等への対応が求められています。当苑においても、定款の全面改正を行い、議決機関としての評議員会の設置、役員等の権限と責務の明確化、財務諸表等の公表等を規定し、平成 29 年 4 月からの新定款の施行により対応してまいります。また、地域における公益的な取組として、地域福祉の向上を目的とした「介護者のつどい」の開催や、地域の方を対象に当苑の「看取り介護」の報告会を行いました。

平成 28 年度は、特養で入退所数が例年より非常に多く、稼働率が 95% を割り込み、大きな減収となりました。その一方で、当苑も平成 12 年 10 月に開業以来 16 年半が経ち、建物や設備機器等に老朽化の進行や耐用年数が到来しましたので、床材の張替修繕やホール照明の入替修繕（LED）、エレベータの制御盤修繕等、特殊浴槽・福祉車両・給食用食器等の入替購入等を行い、多額の費用を要しました。そのために、基金の一部を取り崩して対応するなど厳しい運営でしたが、当苑が保有する財産から事業継続に必要な財産を控除した結果、社会福祉充実残額が生じることになり、平成 29 年度に社会福祉充実計画を策定し、活用していくことになりました。

平成 27 年 4 月から特養の入所基準が原則要介護度 3 以上と改正されたこともあり、入所者様の重度化がみられる中で、必要な介護人材の確保を図るとともに、介護人材育成委員会を設置し職員研修計画を作成の上、研修会への受講促進や内部研修の実施等により職員の育成を行い、介護力の向上を図りました。

平成 29 年度も社会福祉法人の制度改革が進められる中、当苑も適切な対応を行い、基本理念「みんなで笑顔のために」のもと、施設のご利用者様、ご家族や地域の皆様に愛され信頼される施設を目指し、職員一丸となって一生懸命頑張っております。

【事務グループ事業報告】

平成 28 年度、事務グループでは主に介護環境の改善等に取り組ましました。詳細は下記のとおりです。期末の利用者状況については別紙のとおりです。（なお、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項における事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため省略しております。）

項 目	内 容
設備器具 の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・職場定着支援助成金（介護福祉機器等助成）を活用し、特殊浴槽の入替えをおこなった。 ・経年劣化が激しい乗用車 2 台について福祉車両に入替えを行った。 ・駐車場及びホールの照明を LED に入替え省電力化を図った。 ・ご利用者の重度化により、畳部屋をフローリングにリフォームした。 ・改正フロン排出抑制法対策として、厨房の業務用冷蔵庫 2 台の入替えをおこなった。 ・すべてのベッドについて専門業者による点検を実施し、必要箇所の修理をおこなった。 ・吸引器・トイレ便座・エアマット・ストレッチャー・車いす・離床センサー等の修理と、歩行器など自立支援のための介護器具の追加購入をおこなった。 ・排煙オペレーター、給湯ボイラーの修繕、エレベーターの基盤・バッテリー交換をおこなった。 ・エントラントイレのドア修繕と手すりの増設をおこない、安全でより使いやすい環境を整えた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法の改正に伴い、定款変更等所要の手続きを行った。 ・介護保険制度の一部改正により、負担段階が変更となるご利用者に対して改正点のご案内・説明をおこないご了解いただいた。 ・所轄庁による定期監査に対応した（社会福祉法人・介護保険関係）。 ・学卒求人説明会の参加・見学対応により、予定数の介護人材を確保することができた。 ・職安主催の介護事業所見学会を当事業所にて開催、多数の求職者にご参加いただいた。介護のしごとや介護職の処遇、ケアの内容について詳細説明をおこない、ほのぼの苑を知って頂くことができた。 ・労働安全衛生法に基づくストレスチェックについて、従業員へ事前説明をおこない、定期健康診断に併せて実施した。 ・職免措置及び学費補助等の資格取得奨励により、当年度介護福祉士国家試験において 4 名の合格者を出すことができた。

利用者状況等報告

1.平成28年度 サービス別稼働率

	施設		短期入所		通所介護	
	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率
4月	3,178	96.30%	261	87.00%	265	63.10%
5月	3,235	94.87%	280	90.32%	284	64.55%
6月	3,139	95.12%	282	94.00%	294	66.82%
7月	3,243	95.10%	254	81.94%	291	69.29%
8月	3,304	96.89%	269	86.77%	303	65.87%
9月	3,207	97.18%	275	91.67%	281	63.86%
10月	3,307	96.98%	282	90.97%	281	66.90%
11月	3,119	94.52%	280	93.33%	280	63.64%
12月	3,153	92.46%	258	83.23%	230	57.50%
1月	3,168	92.90%	282	90.97%	230	57.50%
2月	2,827	91.79%	167	59.64%	212	53.00%
3月	3,197	93.75%	302	97.42%	248	53.91%
合計	38,077	94.84%	3,192	87.45%	3,199	62.24%
平成27年度	39,286	97.58%	3,058	83.54%	3,274	63.45%

2.市町別施設入所状況

平成29年3月31日現在

	南越前町			福井市	鯖江市	越前市	敦賀市	若狹町	勝山市	合計
	南条	今庄	河野							
男	6	3	0	0	1	9	0	0	0	19
女	25	17	4	2	4	28	4	2	1	87
合計	31	20	4	2	5	37	4	2	1	106

3.施設サービス年齢別状況

平成29年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	0	2	1	0	5	8	3	0	0	19
女	1	2	2	7	6	24	30	12	3	87
合計	1	4	3	7	11	32	33	12	3	106

平均年齢 87.6歳(男:83.3歳、女:88.6歳)

最高齢:101歳、最年少:61歳

4.施設サービス介護度別

平成29年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	更新申請中	合計
男	0	1	7	8	3	0	19
女	1	5	22	30	27	2	87
合計	1	6	29	38	30	2	106

平均要介護度 3.86(昨年度3.74)

5.施設在苑期間別

平成29年3月31日現在

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～10年	10年～15年	15年以上	合計
男	5	3	1	5	2	0	2	1	0	19
女	15	9	7	6	14	14	14	6	2	87
計	20	12	8	11	16	14	16	7	2	106

平均在所期間:52.5ヶ月

【企画相談グループ事業報告】

社会福祉法改正において、「地域における公益的な取り組み」の実施が責務規定として創設されたこともあり、今年度は新たな取り組みとして地域福祉の向上を目的とした「介護者のつどい」を開催しました。また、多職種連携し取り組んでいる「看取り介護」についても地域の方を対象にして報告会を行いました。

項 目	内 容	備 考
介護者のつどい	南越前町の南条地区を中心として、「介護者のつどい」を実施。高齢者の介護について知識や技術の習得や介護家族の交流を通して介護負担の軽減や気分転換を目的として開催した。	H28/11/6 参加者 16 名
看取り介護	看取り介護における体制を整え、多職種協働のもと看取り介護を行えるように努めた。最期までご本人らしく過ごす事が出来るように日頃のケアを充実させ、また気持ちに変化がないかなど確かめながら看取り介護に取り組んだ。亡くなられた後の偲びのケアも定着してきた。地域の方に向けて看取り介護についての報告会を 2 回行った。	看取り介護の報告 H28/6/10 H28/9/12
広報誌の発行	施設で行われている四季折々の行事やサービスの質の向上に努めている取り組み内容（研修等）を利用者やご家族、地域の方に情報を発信し理解していただいた。平成 28 年度の「ふくし広報コンテスト」では最優秀賞に選ばれた。	年に 4 回発行
入所順位調整委員会	平成 28 年度の新規申し込みは 63 名であった。今年度は以前からの入所申し込み者に対し「現在も入所を希望しているか」について調査を行った。調査の結果 40 名程度（要介護度 3 以上）となった。毎月、第三者委員にも参加していただき、入所順位調整委員会を開催。平成 28 年度は入所が 40 名で退所は 42 名であった。	
食事・口腔ケア	定期的に口腔指導を受けたり、歯科医師を招いて口腔ケア研修を実施し口腔ケアの知識や技術向上とケアの統一を図った。	

【介護グループ事業報告】

介護グループでは、それぞれのフロアの特徴を生かしたケアが展開され、利用者の方々が日々快適に、より満足できるケアを提供できるように多職種と連携をとりながら援助しました。

項 目	内 容	備 考
介護力向上 (自立支援)	<p>【水分摂取】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日 1500ml 目標に飲める工夫 ・毎日の水分量の記録 <p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事形態のレベルアップ <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活の中でのリハビリ ・グループリハビリ・苑内のリハビリ ・毎日の歩行訓練（365歩のマーチ） <p>【排泄】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オムツを使わない生活で快適に過ごせるよう援助 	<p>好みの飲み物 持ちやすい容器</p> <p>刻み食の見直し</p> <p>生活リハビリ</p> <p>11時15分～全員</p> <p>トイレやPトイレ 介助</p>
楽しみのある 生活	四季折々の行事を企画し利用者の方に楽しんでいただいた。家庭的な雰囲気、より個別の関わりを持つためにも、少人数での外出援助を実施	<p>流しそうめん</p> <p>運動会</p> <p>菊人形見学</p> <p>故郷訪問・外食</p> <p>ショッピング</p>
個別ケアの充実	利用者の方との関わりに重点を置くためにも、家族の方が積極的にコミュニケーションをとりやすい環境を設定していった。	
ミーティングの 充実	出来るだけ多くのスタッフが参加し、申し送りとともに早急に検討が必要な課題についての話し合いの場を設けている。業務改善や個別のケアに関しても「まずはやってみる」を心がけた。	毎日 13時45分～
事故防止対策	自己を未然に防ぐための観察力を高めようと利用者一人一人のリスクや特徴を記録しスタッフ全員が共有できるように努めた。	個別リスク表
接遇マナーの 向上	利用者の方に対して常に敬う気持ちを大切にスタッフがお互いに注意し合い接遇の向上に努めた。	

【 H28 年度看護グループ事業報告】

現入所者の健康状態の変化に適切な医療やケアを受けられるよう、日頃から他職種との情報共有・協働・看護の質の向上等を重視して活動してきたので報告します。

項 目	内 容	備 考
連携 (介護) (医療機関)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職の吸痰等の資格指導 (苑内) ・吸痰有資格者の支援と実践 ・人材育成委員会 ・介護職員への医療知識の学習会 (緊急時の対応 看取りケア インゼルクア) ・気付き付箋での情報伝達 ・緊急入院カリーの迅速化 ・嘱託医師との連携 ・協力病院との連携 	<p>新規4名(22名)</p> <p>計5回</p> <p>山本内科 林 HP</p>
医療・ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・胸部撮影 (ホータブル・バス) ・インフルエンザ 予防接種 (全員) ・肺炎球菌ワクチン (対象者) ・吸痰・胃瘻者 (ショート2名) ・インリン注射 ・看取り介護 	<p>ホータブル33名 バス60名</p> <p>20名19名 3名</p> <p>25名(41名)</p>
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議 (苑内) ・病状説明 ・HP 受診後の報告 ・日々の様子報告 	<p>広報・新規入所者</p>
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・老施協 研究活動 ・感染認定看護師の出前講座 ・感染症発生対応力向上研修 ・ST の嚥下評価 ・褥瘡対策委員会 ・事故防止委員会 ・感染対策委員会 ・看取り委員会 	<p>計6回</p> <p>林 HP 認定看護師 丹南健康福祉センタ -</p>

【調理・管理栄養グループ事業報告】

28年度は27年度と同じ「喜ばれる食事の提供」と「安心安全な食事の提供」を目標に調理、管理栄養Gで取り組みました。

項 目	内 容	備 考
選択メニューの実施	月1回 夕食時の主菜を2種類から事前に選んでいただき提供しました。	
行事食・バイキングの実施	デイサービスやフロアで 昼食やデザートバイキングを実施。また毎月、季節の行事に合わせて行事食を提供しました。	
食中毒事故防止の取り組み	福井県版ハサップでの衛生管理に基づき 食中毒事故が起こらないよう努めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の衛生管理 ・食品等の衛生的な取扱い ・従事者の衛生管理、衛生教育 など 記録の管理も確実に実施しました	

【H28年度 通所介護事業報告】

デイサービスでは“認知症理解とケアを充実させる”を目標に認知症状について知識を高め、利用者個々の状態を把握し対応ができた。楽しみが持てる行事、ドライブ、季節を感じる制作物、手作りおやつに取り組んだ。

項目	内容	備考
ケア	認知症状に対し、原因を追究、症状に応じた対応に努める事ができた。	疾患の理解、勉強会
職員	情報伝達方法を考え、共有が出来た事で、状態把握、統一したケアを行う事ができた。	
研修	外部研修の参加は少なかったが、苑内の研修、伝達講習に参加する事で意識を高め、知識を深める事ができた。	研修不参加職員への伝達
行事	・手作りおやつ ・ドライブ ・出前、外食	利用者に意向を聞きながら実施

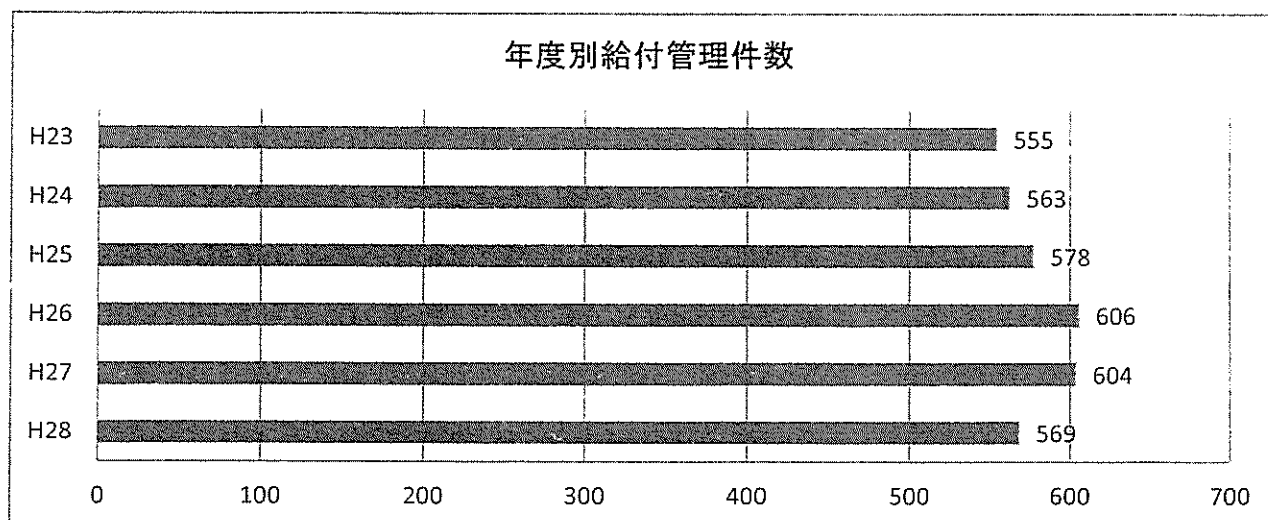
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比														
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
利用者		67	198	88	196	84	210	83	208	97	206	93	188	85	196	86	194	77	153	81	149	67	145	76	172	984	2215	+96	-171
計		265	284	294	291	303	281	281	280	230	230	212	248	3199	-75														
介護度	要支援1	7	3	11	2	12	5	12	3	13	2	13	0	11	1	13	4	12	4	12	4	9	1	13	0	167	+58		
	要支援2	3	24	9	26	9	23	7	22	9	17	9	16	16	16	18	14	16	17	16	21	14	25	17	27	391	+50		
	要介護1	33	58	32	49	30	49	31	48	35	50	26	42	25	49	16	50	14	39	20	42	15	45	21	55	874	-218		
	要介護2	16	95	23	92	19	93	22	108	25	110	28	103	24	103	27	101	27	79	24	63	21	55	16	64	1338	+187		
	要介護3	8	9	9	19	5	36	3	26	5	22	9	23	0	23	3	20	0	10	1	15	2	16	0	22	286	-253		
	要介護4	0	9	4	8	9	4	8	1	10	5	8	4	9	4	9	5	8	4	8	4	6	3	9	4	143	+88		
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ケアカンファレンス		2	1	2	0	0	2	1	2	1	1	2	1	2	0	1	2	3	0	3	0	0	2	2	31				
個人計画		2	1	2	0	0	2	1	2	1	1	2	1	2	0	1	2	3	0	3	0	0	2	2	31				
稼働率 %		63.1	64.5	66.8	69.3	65.9	63.9	66.9	63.6	57.5	57.5	53	53.9	62.2	-1.2														
新規利用		2	1	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	12	-4			
事故件数 (転倒、骨折)		0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	-2														
ひやりはっと件数		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-5														

【居宅支援グループ事業報告】

平成28年度は「次に活かせるモニタリング力をつける」を目標に、サービスの質の向上に重点をおいた。具体的な利用者状況等に関しては別紙のとおりである。

項目	内容	備考
相談援助	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のモニタリング訪問の際には、サービス提供状況や本人満足度、支援目標の達成度、計画変更の必要性を意識することで、効果的に聞き取りできるようにした。 ・ご家族に「家族支援の在り方に関するアンケート」を実施、介護家族を取り巻く周囲の者が気持ちを理解し、配慮しなければならないことの必要性を再認識した。 	
給付管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置変更に伴う新規受け入れ調整のため、のべ給付管理件数が前年度より35件マイナスとなった。 ・要介護者が要支援状態へと改善したケースが2人あり、引き続き、居宅介護支援担当し継続ある支援を行なった。 ・加算を伴う、入退院時の連携を確実に行った。 	※別紙参照
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の構成員として、個別困難事例の検討や地域の課題検討に参画した。 ・地域ケア会議に事例提出し、「末期がん利用者の通院手段について」検討した。 	
研修・会議	<ul style="list-style-type: none"> ※南越前町ケアマネ連絡会に毎月参加し、年間を通して ・ICFの考え方に基づいた自立支援型ケアマネジメントについて学び、アセスメントの際には、「できないこと」から「できること」に視点変換するよう心掛けた。 ・アセスメント情報を整理し、課題やニーズを導き出す「課題検討表」の作成方法を学び、全利用者に対して作成実施した。 	

【グラフ①】



平成28年度 居宅支援事業報告別紙

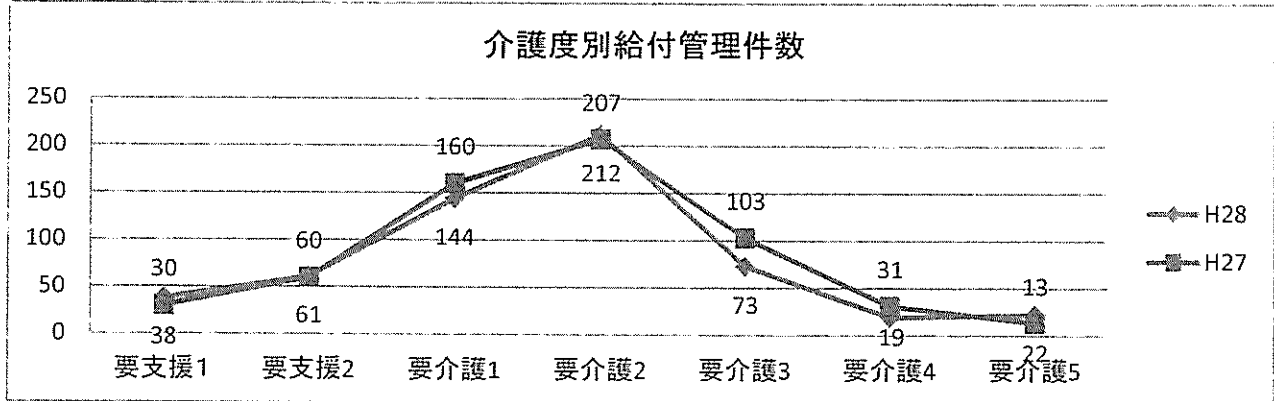
【月別認定調査件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
認定調査	3	1	6	2	2	0	4	3	6	2	0	2	31	31

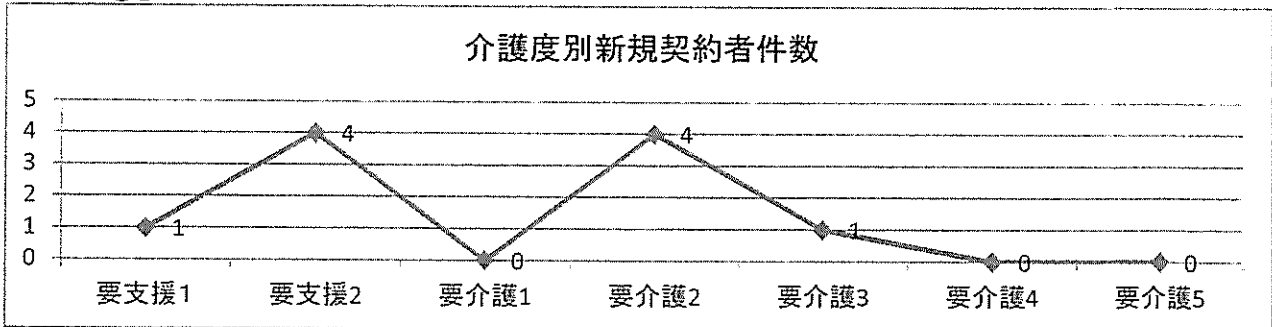
【月別新規契約及び給付管理件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
新規数	2	2	1	0	0	0	1	0	1	0	2	1	10	19
要支援1	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	38	30
要支援2	5	4	4	4	4	4	5	5	6	6	7	7	61	60
要介護1	16	16	15	15	14	12	11	9	8	9	9	10	144	160
要介護2	19	19	18	18	18	18	18	18	19	16	15	16	212	207
要介護3	8	7	9	7	6	6	6	6	4	4	5	5	73	103
要介護4	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	19	31
要介護5	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	2	2	22	13
合計	57	55	54	50	48	46	47	44	45	42	45	46	569	604

【グラフ②】



【グラフ③】



【グラフ④】

